

# Voilà! C'est la vie!

ボワラ  
カメルーンからこんにちは  
2023年12月 N°21 (vingt et un)  
ビラ

JICA 海外協力隊 2021 年度 3 次隊 小島由紀子

2022 年 1 月末にカメルーンにやってきて、バフィアで協力隊活動を始めてから、はやくも2年がたとうとしています。もうすぐ日本に帰ることになります。私の JICA 海外協力隊としての大きな役割は、バフィアで『幼稚園の先生方と いっしょに たのしい授業や教材の作り方、よりよい教え方を考えること』でした。そのために、幼稚園の先生と話し合い、アイデアを出し合っ*て*いっしょに子どもたちに教えながら活動してきました。(くわしくは、おたより第5号もみてね!) 今回は私がこの2年間、どのような活動をしたのかをしょうかいたします。



## やく ねんかん きょうりょくたいかつどう 約2年間の協力隊活動 なにをしたの?

身のまわりにある  
モノを使って  
授業をする!

バフィアのようち園には、おもちゃや絵本、ブロック、ねんどなど、子どもたちが遊んだり勉強したりするための道具があまりありません。買うおともも高く買えないからです。そこで私は、身のまわりにあるモノを使って学校で使うものを作るアイデアを先生たちに伝えました。

ペットボトルのキャップを色で分けると、色のベンキょうのように使えるよ!



色がようしがなくても、白い紙に色をぬれば、きれいな色の紙が出来るよ



ストローがなくても、ペットボトルにたくさんあなを開ければ、ひもを通してあそべるよ!



ダンボールを切ると、すきな形をつかってあそべるね。



赤い紙がないなら、色をぬってつくっちゃえ!





かみ紙しばいを  
つかってもらおう!



ようち園には、絵本を読んだり物語を聞いたりする時間があります。でも、教室に絵本がないので、先生たちは、その場で考えたお話を聞かせていました。私は紙しばいを作って、先生たちが子どもたちに読み聞かせるようにお手伝いをしました。



絵を見ながら話を聞くと、子どもたちがとても集中してくれる!

子どもたちが一生けんめい聞いてくれると、先生もうれしくてえがおになる😊

てあそびうた  
手あそび歌を  
まいにち  
毎日うたってもらおう!

子どものときに、指をたくさん使うことは、脳や身体の成長のために大切です。でもブロックや積み木がなく、そのようなあそびが少ないです。また先生も子どもたちも歌やダンスが大好き!そこで、手あそび歌を提案してみました。



大きな会議では、300人くらい  
の先生たちと練習しました。

手あそび歌で、子どもたちも先生も楽しく学習をはじめられる!



じゅぎょうで使う道具を  
つくってもらおう!

じゅぎょうで使う道具を、まわりにあるものを使ってかんたんに作る方法を知ってもらいました。これで足りない道具も作れるようになります!



ダンボールや紙があれば、教室のけいじ物や授業で使うカードなどもつくれるよ!

ちょっと工夫すれば、計算ボードもかんたんに作れてしまうね😊



ジャイカ せかい えがお  
**JICA「世界の笑顔のために」プログラム**  
 くーピー えほん  
**クーピーと絵本をおくってもらったよ**



ようち園では少しのクーピーをみんなでじゅんばんに使っています。また絵本もありません。そこで、JICAの「世界の笑顔のために」プログラム（気になる人はJICAのHPを見てね）を使って、日本の支援者の方からクーピーと絵本をおくっていただきました。



せいり せい  
**整理・整頓をして、**  
 どうぐ つか  
**道具を使いやすくする！**

バフィアの先生たちは、道具の整理整頓が、ちょっと苦手！いつも物をさがしています。かんたんに整理して、いつでも楽に使えるような方法を伝えました。



ダンボールに、クリップでとめてしまえば、カードや紙もすぐに見つけられるね



ペットボトルを切って作った入れ物にクーピーをしまえば使うときも楽！



バフィアの先生や子どもたちの活動は、大変なこともたくさんあったけれど、それ以上に楽しいこと・うれしいこともありました。これから先も先生たちが、私といっしょに取り組んだことを続けて、バフィアに先生と子どもたちのえがおがもっともっと増えてくれるといいなと思っています😊





# カメルーンでみーっけ！



この写真をじっくり見て考えてみよう！  
これはなにか？ なにかが かいてあるかな？



これは、カメルーンの切手です。よく見ると、カメルーンの国旗と日本の国旗、カメルーンの大統領と日本の元総理大臣の顔が印刷されています。そして、まん中にあるのは、日本の支援で建てられた小学校です。

日本はこれまで、カメルーンにたくさんの学校を建てています。カメルーンの教室不足をなくすため、教育環境を整えるために、何度も、各地に学校を建ててお手伝いをしてきました。建てられた学校は「日本がくれた学校」とよばれて、大切に使われています。バフィアの近くの街にも、日本が建てた学校があると聞きました。このことをよく知るカメルーンの人たちは、「日本は学校を建ててくれたとてもよい国だ」と言ってくれます。



ゆうびんきょく

そういった日本とカメルーンの間にもつながりもあり、2つの国の友好の証として作られたのが、この切手だそうです。2005年に発行されたこの切手は今も使われていて、私もゆうびんきょくで出会うことができました。